

図書室だより

いつも、文化の森てんえい「図書室」をご利用いただきありがとうございます。



子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所をとの願いから、「こどもの読書週間」は1959年(昭和34年)に誕生しました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間(5月1日～14日)でしたが、子どもの読書への関心の高まりを受けて、「子どもの読書年」である2000年より現在の4月23日(世界本の日・子ども読書の日)～5月12日に期間が延長されました。開始当時より、図書館・書店・学校を中心に、子どもたちに本を手渡すさまざまな行事が行われてきました。幼少の時から書物に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、ものごとを正しく判断する力をつけておくことが、子どもたちにとってどんなに大切なことか…。子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えるとき、それが「こどもの読書週間」です。

文化の森てんえい図書室にも約9,500冊の絵本や児童書が揃っています。この機会にぜひ、図書室を利用してみてはいかがでしょうか!!(*'▽')



■今月のおすすめ本■

【K・Sさんおすすめ】

『お稲荷さんのすごいひみつ』 桜井識子／著
ハート出版



普段信仰のない人が、「困った時の神頼み」でお願いしても、お稲荷さんはちゃんと聞いてくれて、一生守ってくれます。お稲荷さんいわく、その為に神様はいるんだそうです。凄くないですか。この本には、お稲荷さんの基本から、正しいお参りの仕方、良いお稲荷さんの見分け方など、著者の桜井さんが、各地の稲荷神社へ自分で行って直接、神様たちと会話して得た情報が満載の本です。神様が見えて会話ができるって不思議です。読んでいるだけで、お稲荷さんの力をひしひしと感じて、ワクワクして幸せな気持ちになります。今すぐ稲荷神社に行き、お参りしたくなります。



◆おすすめ本を書いてみませんか!◆

対象は「文化の森てんえい図書室」にある本です。掲載文字数は**200文字程度**。掲載者にはお礼の**記念品を贈呈**致します。皆さまのご応募お待ちしております。

《新着図書》

一般書	
■エヴァーグリーン・ゲーム	石井仁蔵
■でいすべる	今村昌弘
■犬は知っている	大倉崇裕
■墓じまいラブソディ	垣谷美雨
■奇病庭園	川野芽生
■ラストエンペラー	楡周平
■ブラック・ショーマンと覚醒する女たち	東野圭吾
■人間標本	湊かなえ
■風に立つ	柚月裕子
■となりのナースエイド (文庫)	知念実希人
■また明日 (文庫)	群ようこ
■玉瀬家の出戻り姉妹 (文庫)	まさきとしか
■春のオルガン (文庫)	湯本香樹美
■それでもしあわせフィンランド (文庫)	芹澤桂
■もろくて、不確かな、「素の自分」の扱い方 (文庫)	細川貂々
■楽しかったね、ありがとう (文庫)	石黒由紀子
■ああ、だから一人はいやなんだ。3 (文庫)	いとうあさこ
■はたらく物語	河野真太郎
■70歳からの禅の教え	石毛泰道
■生きる道しるべ	文化出版局

《新着図書》

一般書	
■小さな家、建てました	竹村真奈
■身近な薬用植物ものしり帖	伊藤優
■すこやかなほうへ	小川奈緒
■おやつですよ	なかしましほ
■最高の暮らしを楽しむ住まいのレシピ	株エクスナレッジ
■うたまるごはんのかんたん親子ごはん	うたまるごはん
■生まれ変わったらパリジェンヌになりたい	淡谷のり子
■教養としての歴史小説	今村翔吾
■BLANK PAGE 空っぽを満たす旅	内田也哉子
■夜明けを待つ	佐々涼子
■CARPE DIEM今この瞬間を生きて	ヤマザキマリ
■日本の絶滅危惧知識	吉川さやか
えほん 児童書	
■オオムラサキのおかあさん (はじめてのSDGsかみしばい)	渡辺享子
■こんにちはがっばい!	山本祐司
■ドアをあけたら うみのおうち (しかけ絵)	しまだともみ
■のぞいてみると	しまだともみ
■ちいさな木	佐竹美穂
■さいこうにさいこうのプレゼント	ペトル・ホラチェック
■君たちはどう生きるか (徳間アニメ絵本)	宮崎駿

